

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2022~2023年度 No.272

8 月報

那須クラブ会長 主題

地域につなげ那須ワイズ IV



強調月間：戦略 2032

今月の聖句

あなたたちは真実と平和を愛さねばならない。

ゼカリヤ 8 : 19

8月第1例会（納涼例会・キャンプ場視察・ワーク）

日時：8月20日（土）午前10時～

場所：塩谷キャンプ場

内容；1年に一度の塩谷キャンプ場訪問。2019年5月の例会で仮植を行った、「クルミ」「柿」「梅」の木の育ち具合を見るとともに、熱中症に注意しながら、私たちにできるキャンプ場の整備を1時間程度行います。村田が草刈鎌と草刈機4台持参。各自持参するもの、飲み物、軍手、その他。

青空の下で、軽く汗を流した後、大きな輪になって例会を行います。軽食をとります。

司会：村田 榮副会長

会長 河野 順子

開会点鐘・挨拶

ワイズソング斉唱

一同

ワイズの信条の斉唱

一同

聖書朗読・祈祷

司会者

ゲスト・ビジターの紹介

会食

YMCA報告

ワイズ報告

YMCAの歌

閉会挨拶・点鐘

会長 河野 順子

会費 1,000円

参加希望者は準備の都合がありますので、8月19日までに河野会長（090-1997-2077）まで連絡してください。

2022~2023年度 主題

国際会長：(IP) K・C・サミュエル(インド)

「フェロシップとインパクトで次の100年」

アジア太平洋地域会長：(AP) チェン・チ・ミン(台湾)

「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

東日本区理事：(RD) 佐藤 重良(甲府21)

「未来に向けて今すぐ行動しよう」

北東部長：大久保 知宏(宇都宮)

「クラブのミッションを育てよう」

クラブ役員

会長：河野 順子

副会長：村田 榮・田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：平山 雄大

ブリテン：田村 修也・村田 榮

7月例会データー（出席率：71.4%）

在籍者 7名

出席者 5名 メネット 1名

8月 Happy Birthday

なし

・9月第2例会（役員会）

日時：8月26日（金）午後4時30分から

場所：田村副会長宅・ZOOM

・9月第1例会（アジア学院との交流会）

日時：9月18日（日）午後5時～

場所：日本基督教団西那須野教会

巻 頭 言

田村 修也

「夏が来れば思い出す 遙かな尾瀬遠い空」で始まる、江間章子作詞と仲田喜直作曲の夏の思い出は、合唱組曲の「日本の四季」の夏の歌です。ワイズの資料を探していましたところ、2006年8月（日）に実施した納涼例会の資料が出て来ました。懐かしい夏の思い出、納涼例会の思い出がよみがえってきました。担当主事は五十嵐主事でした。会場は19時から原田メン・メネット宅でした。通常よりも遅い開会だったのは、ボランティアリーダーの集まれる時間に合わせての開会だったからです。まだボランティアリーダースクールも開かれており、チャリティーランも初期の頃でした。メインは何といても懇親会、そーめんパーティでした。原田宅のバーベキュースペースで、西那須野教会から借用した大鍋で男性のリーダー達が薪を燃してソーメン茹でに奮闘。一方女子のリーダーたちは、きゅうり、トマト、小ねぎ、オクラ、青じそ、茗荷、根ショウガ、ニンニク、ピーマン、赤・黄のパプリカをメネットの指導で細かく・細かくみじん切りに取組んで混ぜ合わせ、めんつゆと酢を混ぜたものを豆腐にのせて食べる豆腐の夏野菜あえの準備をしました。西瓜、メロン、から揚げ、カボチャの煮物・デザート等々、盛り沢山の食事。食事の後は、恒例のオークション。益金は中越沖震災復興支援と北東部部会参加支援でした。ボランティアリーダー達の生き生きとして輝いていた姿が目にかんできます。また18年前の私たちメン・メネットの姿も。

7月の3連休までは、小康状態であったコロナ感染者数も、その後、急速に増加して、第7波に入ると報道されています。7月前半までの小康状態に、これで対面での集会、そして会食も再開出来るようになる、また、皆で納涼例会を楽しめるようになることを期待していましたが、また耐えながら再開を待ち望むことになってしまいました。それでも、あの日あの時のように楽しい納涼例会が出来る日が、一日も早く来るように待ち望んでいきたいと願っています。



7月例会 於；日本基督教団西那須野教会 2022.07.22

7月第1（キックオフ）例会報告

日時：7月22日（金）午後6時～

場所：西那須野教会

出席者：河野、田村、村田、藤生、平山の各メンバー、田村メネット。6名

報告：藤生書記

7月例会は2022-2023年度「キックオフ例会」として、2021-2022年度「事業及び決算報告」の承認と、2022-2023年度「事業及び予算計画」の承認を行いました。

初めに2021-2022年度「事業及び決算報告」について審議を行いました。

「事業報告」は6月例会にて「評価・振り返り」をしており、それをもって報告としました。「決算報告」は村田メンより、「収入の部『例会費』は、コロナ禍のため対面にて開催出来ない例会もあり減少した」「支出の部『東日本区会費』は、コロナ禍にて納付額が半分となった」「支出の部『北東部会費』は、コロナ禍にて行事等が開催出来なかったこともあり納付無しとなった」「支出の部『献金』は、アジア学院や聖園那須老人ホームへの予定していた献金以外に、災害やウクライナ支援などが生じたため増額となった」などの報告がありました。採決を行い、出席者満場一致により、原案通り承認されました。

次に2022-2023年度「事業及び予算計画」について審議を行いました。

「事業計画」は6月例会にて話し合われた例会の案を河野会長がまとめ、その計画案が出されました。「予算案」は村田メンより事業計画が全て行えると仮定した立案との説明がありました。尚、支出の部「YMCAサービス」について、「那須YMCAボランティアリーダーが参加する研修等があれば予算を超えての支援も可能なので、その場合は申し出てほしい」と那須YMCA担当主事でもあるワイズ担当の平山主事へ伝えられました。採決を行い、出席者満場一致により、原案通り承認されました。

7月下旬より新型コロナ新規感染者数が全国で激増しています。栃木県内の新規感染者数も1日当たり2,000名を超える日もあり、かつてない感染拡大で私たち自身もいつ感染してもおかしくない状況に置かれています。今年度の活動が予定通り実施出来るか不安ではありますが、少しでも早い終息を祈るばかりです。

8月第2例会（役員会）報告

日時：7月22日（金）例会終了後～

場所：西那須野教会

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、平山担当主事

協議事項

1. 8月例会について

8月20日（土）午前10時塩谷キャンプ場に集合し、簡単なワークを行い、例会を行って、昼食後解散。

2. 9月例会について

アジア学院の学生を招いて、自国の治安・経済・教育などを話してもらい、質問を通じてユースリーダーとの交わりを通じて、交流を深める。日時については、25日（月）にアジア学院との話し合いで決定する。

3. 9月第2例会（役員会）について

8月26日（金）午後4時30分より田村副会長宅で行う。コロナの拡大では、ZOOM開催も可とする。

4. 7月北東部評議会について

7月23日（土）午後1時からZOOMにて開催。村田副会長が出席予定。

第1回北東部評議会報告

村田 榮

7月23日（土）午後1時からZOOMで開催された。前年度の会計報告、2022-2023年度の各事業・各クラブの計画が発表された。その中で気になったことは、メンバーの高齢化と会員増強と会費に関することでした。YMCA関係者の紹介・ワイズに入ってどうなるのか、新しい会員獲得にはYMCAとの連携が必要との意見があった（一番YMCAのことを理解しているのはどんな方であるかを考えれば、ユースリーダーOB・YMCA会員）。支払った会費がどう使われているのかも明確に（特に本部会費の内訳等）。決議事項では、9月17日（土）に宇都宮で北東部大会開催（ぜひ対面式で行いたいのがコロナの推移を注視し、ZOOM開催もあり得る）。内容は、会員獲得をテーマとしてはどの意見もあった。北東部の会費は今年度一人、5,250円となります。北東部部長の那須クラブ公式訪問の時期は、9月か10月例会となりました。

9月例会の予告

9月の例会は、以下の要領で行う予定です。アジア学院へは、7月25日に田村・村田両副会長と同

道し、依頼に行って参りました。YMCAに関わりを持っていない方でも参加され、他国の情報を得ることで自国を顧みる機会となりますので、ぜひおいでください。

記

1. 目的：ワイズの目的でもあるYMCA（リーダー育成）の支援の一環として他者との交流を図る企画の一つ。自国のための農村指導者となるべき研修のために他国から来ている学生から学生の自国の治安・経済・教育などを具体的に学生の思いも含め、レクチャーしてもらい、質問を通してユースリーダーに何が伝わり、何を思ったかなどフリートークで交流を図る。

日時：2022年9月18日(日)午後5時～7時

場所：日本基督教団西那須野教会

出席者：アジア学院学生3名程度。ユースリーダー・ワイズメンバー

通訳は、アジア学院の大柳由紀子副校長の予定。

旧西那須野（那須西原）の緑と水（第111回）

田村修也

大正12年（1923）10月22日、分骨埋葬当日は朝から晴天で、気温も暖かく水稻の刈入れも順調に進み、開墾の祖を送るのに相応しい日でした。雲照寺では、午前10時に読経が終り、10時30分遺骨は曾孫の玄さん（9歳）に抱かれて、未亡人のハマさん、長女エツさん、施主の寛さんもそれに従って出発。縦道を南に進み、踏切を渡って二区石上道を左に折れたのは11時近くでした。

小学生一同は、この石上道の所で葬列を迎えました。これより、永田区甲旗を先頭に南校・西校・東校6年生、青年団員、在郷軍人分会員の順に列を整え、高張、花輪、僧侶、村長、棺、棺添、日本赤十字社員、村内各区代表ならびに会葬者一同が常盤が丘上到着したのは、11時20分になっていました。11時40分に埋葬を終え、正午から開眼供養の読経があり、終わって記念写真を撮影、正午より正浄寺（佐久山地内・印南丈作さんの葬儀が行われた寺）説教所本堂（現長延寺）において会葬者一同に御齋（おきよめ）が進呈されました。

午後3時頃まで、遺族及び移住者一同は矢板 武さんの生前を偲び、追悼を続けたのでした。墓碑正面には「旧那須開墾社長 従六位勲六等矢板 武の墓」、裏面には「村民一同建立」と刻まれてあります。

こうして、「一木一水」のなかった水無しの蛇尾川を挟んで、北は那須岳を源流とする那珂川の間約5、000ha、南は塩原の山々を源流とする箒川の間約

5、000haの約10、000haの那須野が原は、那須疏水の開墾によって人口117、000余人の生活する那須塩原市として発展してゆきました。

私の手許に、10年毎に世界一斉に行われる2000年版世界農林業センサスがあります。この農林業センサスは農林業統計の最も基本となるものです。この統計書の県内市町村別森林面積によりますと、この時点で旧西那須野町における森林面積は953haとなっております。これは森林法上5条森林と言われていまして、1ヘクタール以上のまとまりのある林業経営の上で、所有者が植林したり保育（手入れ）したりする場合には国・県の補助の対象となる森林面積です。旧西那須野町の総面積は「ゴクローサン」の語呂合わせがありますように5963km²ですから、単純に割りますと約16%つまり6分の1が森林ということになります。この他に森林法上2条森林と言われる1ha未満の屋敷裏の防風林のように、林業経営対象外の森林がかなりありますから（開拓時には想像を超える那須風から畑や住まいを守るために植林をし、それらの、木が成長するまで堤防のような土手を築いていました。旧西那須野町はかなり緑が多い町だと思います。因みに、この比率を他の市町村と比較してみますと、真岡市や大田原市は総面積は旧西那須野町よりも多いのですが、森林の占める割合は真岡市が10%、大田原市が12%、小山市は3.5%。壬生町は8%、となっております。私自身も西那須野町は他の市町村のように山や丘陵地が無い平坦地なので、森林が少ない町だと思っていました。しかし、こうして調べて見ますと改めて我が町は、開拓事業を通して植林をし続けて平地林という貴重な森林を作り上げて、薪炭の生産供給の基地として、昭和30年代のエネルギー革命が起きる前まで、貨物列車で都市部へ供給し続けてきたのでした。

現在のこの緑の状況は今から143年前の明治10年代の那須野が原の状況からはとても想像ができませんでした。開拓時代に唯一緑のあった常盤が丘に一つの説明版があります。そこには「この一帯は江戸時代前から明治10年にかけて那須野が原と呼ばれた広大な原っぱであった」と記されています。

名著と称される「那須疏水」の著者である田嶋 董さんは、その表紙をめくった最初のページをも置けて「人もし渴かば我に来たりて飲め。我を信ずる者は、その腹より活ける水、川となりて流れ出づべし。ヨハネ伝7章」と記し、「自序」の冒頭に「那須野が原の開拓は、明治以来わが國開拓事業中、北海道を

除いては、その規模において、その成果において、最も大なるものの一つであると思う。私の如き、昔ながらの那須の篠原の面影を、ある程度この眼で見たものにとっては、今日的那須野地方の盛況を見ては、真に感慨無量のものがある」と述べています。確かにその通りであります。(以下次号へ)

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園
西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

2021年度のご報告

「若者を歩むべき道の初めに教育せよ。年老いてもそこからそれることがないであろう。」(旧約聖書箴言 22:6)

気候変動災害や「東日本大震災」で被災された方々が、一日も早く希望のうちにいつもの生活を取り戻せますように。新型コロナウイルスに感染されて病床にある方のご回復、医療・介護関係者、そして、感染対策のために労されている方々に感謝し、ご健康を祈ります。

2021年度は、新型コロナウイルス感染予防のために、行事を含めた保育内容を原点から見直す2年目の機会になりました。保護者の皆様には、ご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。また、本園のスタッフ一同が愛をもって、子ども達の幸せのために努力できましたことを、感謝をもってご報告いたします。

さて、西那須野幼稚園は、東京電力原発事故後のこの11年間、園庭や畑の土の移染、建物の除染、専門家による学習会を行ったり、給食用の逆浸透膜浄水機を設置したりしました。今も毎保育日、園庭中央の放射線量測定、給食の毎食一食分の全検査等、可能なことは、子ども達の健康の為に実施しております。放射線量が下がり利用を再開した山林観察園では、子ども達が様々な遊びを展開することができました。

ところで、本園は、前身の西那須野教会附属「しらゆり幼児園」からスタートし、この地域教育の一端を担う働きをさせていただくようになり、今年で65年目を迎えました。その間、隣接の「こひつじ保育園」との幼保連携型の認定こども園「西那須野幼稚園」として4年間をパイオニア的に取り組み、新制度下の幼保連携型認定こども園に移行予定でした。しかし、当初の新制度では担任以外の教諭は4

人まで、しょうがいのある子どもの加配教師の人件費補助はなくなり、市町からはその分の補填はありませんでした。本園のような大規模園の場合、園児1人の単価も下がり、県の試算で減収7300万円となることがわかりました。子ども達の最善の利益が担保できないばかりか、本園が廃園になるので認定を返上しました。2018年度に幼稚園型認定こども園になりました。改善はされましたが現行の制度は、大規模園は1人あたりの補助金額が認可外施設より低くなり、本園は約1000万円の減収になり、100人以下の施設より経営が厳しい状況です。現在は、2023年度から幼保連携型こども園に移行予定です。

また、2017年に栃木県の民間施設として初めて、「児童発達支援センター シャローム」を設立(2020年センター長 富田勸医師就任)しました。現在、専門家を近隣小学校10校、幼児保育施設7園に派遣し、地域の子どもの支援に努めています。これにより関連施設を含め、赤ちゃんから小学6年生までの全ての子ども達が共に育ち合うインクルーシブな環境の質的充実を追究しています。

さて、近い将来の正解のない時代が、コロナ禍により現実になりました。これからは、その時その時の適解を求めてより善く生きることが求められます。学力だけでなく非認知能力と言われる折れない心(レジリエンス)、自己統制力(感情・意思・行動)、価値観の違う人たちと一緒にやり遂げる力が大切になります。地域社会での人との関わりが希薄になった今、この基礎を培う土台としての遊びが、幼稚園に求められていることを繰り返しお伝えしているところです。

子ども達のより良い自己形成を目指し、子ども達が地域との接着剂的役割を果たす目的(コミュニティー・インクルージョン)で、本園は地域の皆様との関わりを大切にしています。現在は、コロナ禍となり地域の皆様との新たな関わり方を模索しています。中学生の職業体験、五軒町区の皆様とのクリスマス会。また、更生保護女性の会の皆様には、「地域親」として子ども達との昼食会へのご協力をいただいております。18年になります。那須YMCAとの協力による幼児から小学生までが、実体験や遊びを通して育ち合うサタデークラブ(毎週土曜日に実施)は、順調に21年目を迎えました。そして、小学1年生から6年生を対象とした放課後学童クラブが15年目に入りました。

○視察・交流関係(敬称・個人名略)

教育実習生、那須拓陽高校、黒羽高校、那須高校

の生徒、白梅学園大学教授2名

○掲載

月刊専門誌「保育ナビ(フレーベル館)」10月号、
12月号

月刊誌「世界(岩波書店)」の連載「県境の町」(吉
田千亜)5月号～12月号の一部

(西那須野学園報 2022.8 加筆修正)

聖園那須老人ホームたより

社会福祉法人 イースタービレッジ

那須聖園老人ホーム

施設長 薄井 高宏

今年も暑い日が続く、電力不足とゲリラ的な豪雨が
続く中、皆様におかれましては、如何お過ごしでし
ょうか。

新型コロナウイルスのオミクロン株が猛威を振る
い、ようやく一定の落ち着きを取り戻したと思
いきや、今度は、BE-5なる株が猛威を振るい、連日
各地で陽性反応者が過去最高を記録しています。

那須町でも、これまで低い水準を維持していま
しが、今回の波では、一日に50名を超える陽性反
応者が出る日もあり、当事者として自覚していかな
ければならないと気を引き締めて行きたいと思
います。しかし、夏休み初日から他県ナンバーの観
光客が多数見かけられると複雑な気持ちになり
ます。経済の健全化も大切ですが、観光客や他県
者が入って来る為に地元住民が、息を潜めて生
活しなければならぬのは果たして健全と言える
のでしょうか。

さて、聖園那須老人ホームではついに建替え工
事が着工となり、今日現在では、敷地内の建設予
定地にトラックや重機が入り、造成や変電設備、
浄化槽の設置がすすめられています。安全確保に
為やむを得ず、入所者の皆様には、限られた敷
地内での散歩や運動をお願いしております。工
事が進むにつれ、思い出深い木々や庭が無くな
ってしまい寂しい思いと新たに生まれ変わる期
待に胸を膨らませています。今後も進捗を都度
ご報告できればと思っています。

YMCAだより

【とちぎYMCAサマープログラムがスタート
しました！！】

夏が始まりました！夏といえばYMCAのサマー
プログラムです！

今年の夏もYMCAでお馴染みのキャンプ、デイ
キャンプスクールに加えて、サッカーフェスティ
バル



や水泳教室などの様々な
ウェルネスプログラムが
開催されます！！

7月下旬から、8月末ま

で様々なプログラムが展
開されます。

また、とちぎYMCAの
ボランティアリーダーが
今年の夏も子どもたちの

ためにプログラムの準備をがんばっています！

今年の夏もさらに暑い、YMCAのプログラムにな
りそうです！

【とちぎYMCA・那須YMCAの8月の予定】

- ・8/1(月) 魚つかみ&水遊び
- ・8/2(火) ぶどう狩り
- ・8/3(水)～8/5(金) 日光わいるどキャンプ
- ・8/5(金)～8/7(日) 3Daysスクール2期
- ・8/8(月)～8/9(火) おおひらチャレンジキャン
プ
- ・8/17(水)～8/19(金) 短期水泳②期
- ・8/23(火)～8/25(木) 3Daysスクール3期
- ・8/27(土) サタデークラブ@西那須野幼稚園
(科学実験)
- ・那須YMCAの英会話、西那須野幼稚園の運動遊
びは8/22(月)の週からスタートします。
- ・夏休み期間中、サマープログラムとしてキャン
プやスクール、短期水泳など計11のプログラムが実
施されます。

ユースリーダーのつぶやき

1. 名前(リーダー名) 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCA
に入ったきっかけは? 5. 思い出に残った活動とその理
由は? 6. 今後の進路は? 7. YMCAに一言



- ① 佐藤彩華(せつふう)
- ② 国際医療福祉大学言語聴覚学科
- ③ 宮城県
- ④ 自分も小学生の時に、大
学生の方が主催する野
外活動に参加してやっ

てみたいと思ったから

- ⑤ 7月Yキッズ 初めてYキッズに参加して、子供
達とどのように関わればいいのか、自分がど
のように動けばいいのかを先輩方から学べたから。

- ⑥ 夢である言語聴覚士になるだけでなく、YMC Aなどのボランティア活動を社会人になっても続けていきたい。
- ⑦ YMCA IS THE BEST!!

編集後記

- ・新しい年度が始まりました。東日本区半期分の会費を納入いたしました。メンバーの方々、年度会費を会計までお納めください。よろしくお祈りします。
- ・コロナの感染拡大のスピードが今までよりも速いですね。今まで以上に注意が必要です。
- ・シタケ昆布を8月末に購入します。必要な個数を村田まで連絡ください。
- ・那須ワイズの活動の一部を紹介します。
エルム福祉会 アルミ缶の贈呈を行っております。アルミ缶の回収にご協力ください。
聖園那須老人ホーム タオル等の寄付を行っております。入所者の方々が生活する中で、様々な場面で使い切りの布（タオル）を使用しています。
- ・新品、未使用、使用後は問いません。
- ・ハンドタオル、フェイスタオル、バスタオル、タオルケット等大きさも問いません。
- ・御年賀やご挨拶で頂いた物、未開封、開封後等問いません。

2021～2022年度 那須ワイズメンズクラブ会計報告

収入の部			支出の部		
項目	予算	決算	項目	予算	決算
前年度繰越	77,799	77,799	東日本区会費	140,000	99,300
年会費	290,000	275,000	北東部会費	30,000	0
別会費	50,000	23,000	とちぎYMCA会費	60,000	60,000
献金	5,000	5,000	例会費	60,000	28,040
特別会計より繰入	50,000	0	保険代	2,500	1,215
オークション売上	10,000	0	会費	7,000	2,500
雑収入	500	2,050	お祝金	10,000	0
			講師謝礼等	20,000	17,000
			リーダー研修・ユース研修	20,000	9,000
			献金 チャリティイベント等	40,000	85,000
			事務・送料等	2,000	0
			YMCAサービス	30,000	0
			予備費	3,000	16,500
			交通費補助	30,000	0
合計	483,299	382,849	合計	444,500	318,555

次年度繰越金 64,294 円

2021～2022年度 那須ワイズメンズクラブ特別会計報告

収入の部			支出の部		
項目	適用	決算	項目	適用	決算
前年度繰越		367,446	本会計へ		
稚鳥昆布売上	9/14 35回収益	16,250			
	アジアカレッジバザー	0			
	10/27 36回収益	19,645			
	1/28 37回収益	18,365			
	3/31 38回収益	19,515			
	6/13 39回収益	17,680			
利息		0			
合計		458,901	合計		0

次年度繰越金 458,901 円 2021年度収益 91,455 円
(原田さんよりの2.0万円を含む)

2022～2023年度 那須ワイズメンズクラブ会計予算(案)

収入の部				支出の部			
項目	21～22年度	決算	22～23年度	項目	21～22年度	決算	22～23年度
前年度繰越	77,799	64,294	77,799	東日本区会費	99,300	140,000	140,000
年会費	275,000	330,000	275,000	北東部会費	0	30,000	30,000
別会費	23,000	50,000	23,000	とちぎYMCA会費	60,000	70,000	70,000
献金	5,000	5,000	5,000	例会費	28,040	60,000	60,000
特別会計より繰入	0	50,000	0	保険代	1,215	1,500	1,500
オークション売上	0	10,000	0	会費	2,500	7,000	7,000
雑収入	2,050	500	2,050	お祝金	0	10,000	10,000
				講師謝礼等	17,000	20,000	20,000
				リーダー研修・ユース研修	20,000	20,000	20,000
				献金 チャリティイベント等	85,000	60,000	60,000
				事務・送料等	0	2,000	2,000
				YMCAサービス	0	30,000	30,000
				予備費	16,500	5,000	5,000
				交通費補助	0	30,000	30,000
合計	382,849	509,794	382,849	合計	318,555	485,500	485,500

次年度繰越金 24,294 円

22～23年度 那須ワイズメンズクラブ年間計画

掲地域へつなげ那須ワイズIV

月	第二例会日 第一例会日	司会 聖句	例会内容	東日本区 月間テーマ	北東部 月間テーマ	プリテン 出撃担当	備考
7	1日(金) 22日(金)	田村	キックオフ 年間計画(河野)	10日 前期半年報提出	10日前期半年報提出 23日評議会(仙台)	河野	於:西那須野教会
8	7/29(金) 20日(土)	鈴木	納涼例会(塩谷キャンプ場で)	前期会費納入(8/15) 臨時代議員会(郵送)(8/25)		田村	
9	8/25日(金) 9/18日(日)	田村	アジア学院生と交流会(母国を紹介)	30日～10/2日ユース・ボランティア・リーダーズ・フォーラム	17日北東部部会 3日(仮)甲府やまなみON	村田	母国の治安・経済・教育等 高校生・リーダーへ呼びかけ
10	9/30日(金) 8(土)9(日)	藤生・平山	アジア学院収穫感謝日参加	次期部長・事業主任研修会(10/29)	8日or9日北東部長公式訪問	藤生	9日 とちぎYMCAチャリティーラン
11	10/28日(金) 23日勤労感謝の日	田村	日本の文化に触れる(茶道Ⅲ)	15～17 国際協会100周年記念大会(台湾)	5日評議会(宇都宮)	張	
12	11/26日(金) 10日(土)	村田	クリスマス例会	10日 ワイズデー 25～27 YMCA大会(東山荘)	8日 祈りの輪	村田	ユースリーダーに合わせて 養徳園児・エルムスタッフを招待して
1	12/16日(金) 14日(土)	鈴木	新年例会	10日 後期半年報提出	10日後期半年報提出 25日次期クラブ役員報告	鈴木	
2	1/28日(金) 24日(金)	河野	リーダー報告会	後期会費納入・各種献金納期(2/15) 4・5日 25周年東西日本区交流会(神戸)	各種献金送金	河野	
3	2/24日(金) 24日(金)	藤生	講話(ACPIについて)	4・5日 次期クラブ会長・都役員研修		藤生	
4	3/31日(金) 28日(金)	河野	奉仕活動(聖園養護老人ホーム)		評議会(もりおか)	張	
5	4/28日(金) 20日(土)	藤生 平山	植樹		20日北東部長公式訪問	平山	第4土曜日はガール運動会?
6	5/26日(金) 23日(金)	村田	東日本区大会参加 役員引継ぎ・新年度に向けて	3・4日 第26回東日本区大会(甲府)		鈴木	

〇クラブ役員

- 役員会:第1金曜日
例会:第4金曜日
- ・会長 河野順子 0287-22-5380
 - ・副会長 村田 榮 0287-77-3103
 - ・副会長 田村修也 0287-36-1993
 - ・書記 藤生強 090-2403-4212
 - ・会計 村田 榮 090-9095-4035
 - ・副会計 鈴木保江 0287-43-0183
 - ・プリテン 村田 榮・田村修也
 - ・地域奉仕 田村修也・村田 榮
 - ・会員増強 鈴木保江・張ウエリ
 - ・ユース 平山雄大
 - ・担当主事 平山雄大
 - ・国際交流 藤生強・張ウエリ(090-1256-6688)

今年度の計画: 那須クラブの特長を生かし、自然を愛で・施設に寄り添い・地域との交流を図り(SDGs)進めていきます。

- ①ユースとのさらなる交流を図る ②ゲストとの交流を大切に ③アジア学院との交流と支援 ④高校生との交流 ⑤クリーンデーを設置。ゴミ拾い
- ⑥シタケコンプの取り扱い ⑦聖園那須老人ホーム・養徳園との交流 ⑧KG/エルムとの連携

*北東部活動方針
クラブのミッションを育てよう *副題 ユースとともに